

私のすすめるこの1冊

村上 忠幸（理学科 教授）

『OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来 —エージェンシー、資質・能力とカリキュラム—』

白井 俊（著）

この本は、世界の教育を先導している OECD の Education 2030 の成立とその内容について、OECD アナリストとして参画した文科省官僚である白井氏の手によって精緻につづられた秀作である。2015 年にはじまった Education2030 の作業は日本をはじめとする国際的な協力のもとに 2019 年、ラーニングコンパスという概念に結実したことが明解に示されている。そこにはこれからのキーワードとなる「エージェンシー」という概念も示されていて、これからのグローバルな教育を理解する上で必読の書である。

実はこの本は、私にとってもう一つ別の意味を持っている。それは、2016 年頃から抱いていた問いに答えを出してくれたからである。それは「メタ認知はどのようにして消えたのか」という謎である。

当時私は、今回の学習指導要領の改訂の背景には OECD との政策対話が色濃く反映し、一気にグローバルなものに刷新されたことに興味を持っていた。2015 年から文科省に設置された教育課程部会教育課程企画特別部会（以下部会）では 2017 年に公布されることになる学習指導要領の重要な議論がなされていた。この議事録を調べてみると、第 12 回（2015. 7. 22）資料中に OECD のファデルによる 4 次元の教育（スキル・知識・人間性・メタ学習（メタ認知））の図、その直後にその和訳と日本の資質・能力の 3 本柱への矢印が示され、その後に日本版の 3 本柱を示す（お馴染みの）三角形に至る図形が数枚示された。この図形の変換が日本版に至る思考の変容も含んでいると思われるが、そこで、作図に関するどのような作業がなされたかは不明である。とにかく、4 次元の教育から導かれる途中で「メタ認

知」の文言が消えたことは確かである。

それ以降、私はメタ認知が消えた理由を探して、ことあるごとに識者や関係者に質問した。その中で部会資料作成の段階で事務方が作図したのではないかという情報が重なった。そのなかで白井氏の本に行き着いたのは、2021 年末のことである。この本から 2015 年当時 OECD と部会に何があったか、以下にメタ認知が消えた謎への推理を示す。

2015 年、今回の学習指導要領の議論とは別に OECD は Education2030 の議論を始めている。当時の肩書から白井氏はこちらのアナリストとしてかかわっていたようである。こちらでは、メタ認知についてファデルの 4 次元の教育をもとに議論がスタートし、ラーニングコンパス（2019）として着地している。そこにはメタ認知は示されていない。メタ認知は Education2030 の議論の初期段階で、4 次元の教育のように包括的に扱うのではなく、認知スキルの一つに含める形で議論が決着している。一方、学習指導要領の部会では 4 次元の教育を OECD 対話（2 回目、2015 年 6 月 29 日）の後にもってきて先の作図となったようである。もし白井氏が OECD の「メタ認知」の扱いを把握していたなら、ゆくゆくはメタ認知が独立して別扱いになることはないかと推察される。

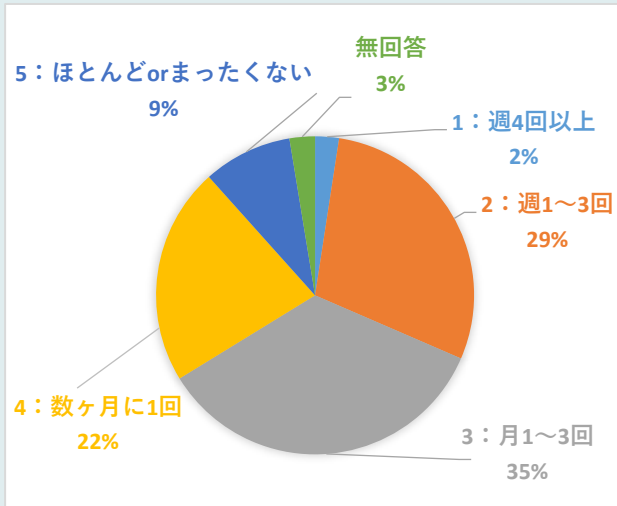
このことについては、機会があれば白井氏に確かめてみたいものである。

・ファデル, C. 著, 岸学監訳 (2016) 21 世紀の学習者と教育の 4 つの次元—知識, スキル, 人間性, そしてメタ学習. 北大路書房, 176p.

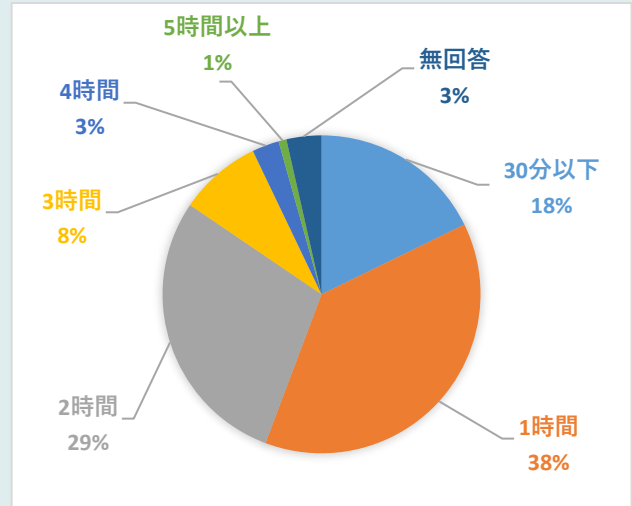
在学生アンケート 2021 を実施しました！

図書館に関する在学生アンケートを 2021 年 3 月 26 日から 4 月 30 日まで紙と Web で実施しました。合計 619 名の皆さまからご回答いただきました。

📖 図書館をどれくらい利用しますか



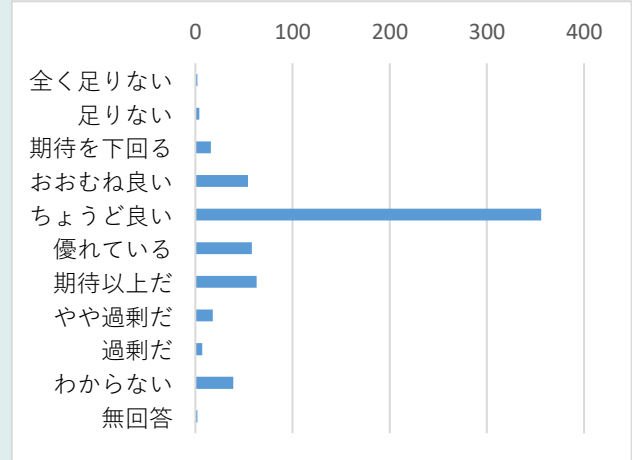
🕒 図書館の1回当たりの滞在時間はどのくらいですか



📚 図書館には必要な資料がある



👥 図書館員の対応



ご回答ありがとうございました。
今後の図書館サービスの改善に利用させていただきます。
また、3月から4月にも実施予定ですので、ご協力お願いいたします。



📬 郵送貸出および返却期限日についてのお知らせ

新型コロナウイルス拡大防止に伴う大学の対応にもとづき、遠隔授業の支援サービスとして郵送貸出を実施しています。
また、返却期限日につきましては、遠隔授業と対面授業の併用期間であることを考慮し、当面の間、返却期限日の延長は行いません。延滞による罰則も通常どおり適用されます。ただし、諸般の事情により返却が難しい場合は個別にご相談ください。
サービスの内容は、状況により変更になる場合があります。変更が生じた場合は、附属図書館ホームページ等にてお知らせします。

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第30回のお知らせ



【日時】2月中旬YouTube公開予定
【場所】今回はYouTube公開のみです
【講師】日野陽子（美術科 准教授）
【テーマ】風の伝言—学校と街でアートにできること—

<概要>ある日、知人の全盲の女性から、このような話を聴きました。一息子が小さな時、初めて見たカブトムシに興奮して絵を描いて、「お母さん、見て見て!」と持って来たのですが、私は目が見えないので「ごめんね。お母さん、見えないのよ。」と言うと、息子ががっかりしてしまっ。でも「いいこと考えた!」と叫ぶと、その絵をささみで切り抜いてカブトムシを持って来てくれたのです。一この「いいこと考えた!」は、図工の時間に子ども達の顔が輝く瞬間とまさに重なります。そして、人は表現や創造の背後に、直接的、間接的に、「誰かや何かのため」を思う心を抱いていて、自分のひらめきが役に立つのではないかとワクワクします。この講座では、そんなアートの可能性について、私が視覚障害のある人々と共に進めてきた取り組みや、今の日本の病院で広がりつつある動きについて紹介したいと思います。

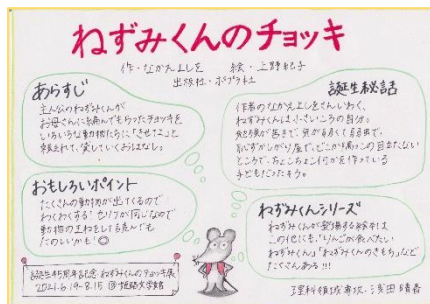
主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

児童書コーナー（南館1階）

幼児教育科主催
えほんのもり

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）



『ねずみくんのチョコッキ』

作：なかえ よしを 絵：上野 紀子
出版社：ポプラ社

リクエストと投票で話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています!リクエストや投票にどんどん参加してください!

2022年2・3月の投票期間は
2月1日(火)~3月15日(火) 予定

※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入しています。

ブックハンティング報告

「図書館に置いてほしい」と思う本を、学生自身が選び、一定の条件内で購入する企画ブックハンティング2021(後期)を実施し、選んだ学生さんによるPOP(本の紹介)と一緒に展示しています!どなたでも借りられます!どんどん、ご利用ください!



【展示期間】1月17日(月)~4月16日(土)

春季休業に伴う長期貸出について

学部生：1月28日(金)~4月4日(月)
院生・教職員：1月14日(金)~3月22日(火)
【返却期限日】4月18日(月)まで
※卒業・修了予定者は3月10日(木)まで

日曜開館

試験期間中の日曜日(2月6日)を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください!

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品(2・3月)

『ローラン検糖計』

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **武島良成** (社会科学科 准教授)

「日本占領期ビルマの塩不足」

武島 良成

京都教育大学紀要 2021, No. 138, pp. 75-87.

筆者が学生だった頃、アジア住民の大戦による被害は盛んに検討されていました。それが今では、研究は少なくとも東南アジアに関しては沈滞気味です。企画本や講座本では繰り返し言及されているので、この課題が不要だとは考えられていないはずですが。それなのに低調なのは、第一線レベルの研究をするには現地語と日本語の崩し字を読む力が求められ、ハードルが上がってしまったためだと思います。

筆者は2020年に上梓した『「大東亜共栄圏」の「独立」ビルマ』(ミネルヴァ書房)の第2部に、このテーマに関する自身の論文4本を採録しました。その際に研究史を整理し、研究の停滞を確認しました。大戦は華麗なドラマではなく、多くの人に犠牲を強いながら泥臭く続けられたものです。そうであれば、戦地の住民のリアルな姿を抽出する作業ももつとなされるべきです。筆者は改めてそう考え、新たに得た知見を活かして検証を続けることにしました。今回の論文はその一つです。これ以外にも、服不足、食用油不足、病気の蔓延などに関わる史料を多数見つけています。それぞれ、単独の論文にする程の意味があるのか疑問が投げかけられるかもしれません。ですが、例えば服不足は、棉花の強制栽培や、泰緬鉄道の労働者の苦難(高地での服不足は病気の原因になった)とも関連する話です。よって、整理して考察する必要があるはずですが。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 138号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUER)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年2月							2022年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28						27	28	29	30	31		

2/4-2/10 後期末試験

2/5 大学院入試

2/25-2/26 学部前期入試

3/2 館内整理日

3/12 学部後期入試

3/25 卒業式

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<https://toshokyo2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.257 (2022年2月号)

発行日: 2022年2月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

